

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【公表番号】特表 2008-525427 (P2008-525427A)

【公表日】平成 20 年 7 月 17 日 (2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報 2008-028

【出願番号】特願 2007-547787 (P2007-547787)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 1/04

C 0 7 K 16/18 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 2 日 (2008.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

N F - B 活性と関連する疾患の治療方法であって、それを必要とする対象に、N I K - H C 8 結合を調節することが可能である薬剤の治療有効量を与え、それによって、該対象における N F - B 活性と関連する疾患を治療する工程を包含する方法。

【請求項 2】

前記 N I K - H C 8 結合を調節することが、N I K - H C 8 複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することによってもたらされる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記薬剤が前記 H C 8 または N I K をコードする内因性核酸配列に相補的なオリゴヌクレオチドである請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記薬剤が抗体または抗体フラグメントである請求項 2 記載の方法。

【請求項 5】

前記薬剤が、N I K を結合可能である H C 8 由来アミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが少なくとも 5 アミノ酸でかつ 50 アミノ酸以下の長さである請求項 2 記載の方法。

【請求項 6】

前記薬剤が、H C 8 を結合可能である N I K 由来アミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが 5 アミノ酸でかつ 200 アミノ酸以下の長さである請求項 2 記載の方法。

【請求項 7】

前記 N I K - H C 8 結合を調節することが、N I K - H C 8 複合体を安定化すること、またはその形成を増強することによってもたらされる請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

前記薬剤が、N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を発現することが可能なポリヌクレオチドである請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

前記薬剤が、N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を含むポリペプチドである請求項 7 記載の方法。

【請求項 10】

前記薬剤が N I K インヒビターである請求項 1 記載の方法。

【請求項 11】

前記 N F - B 活性と関連する疾患が、免疫疾患、炎症性疾患または癌である請求項 1 記載の方法。

【請求項 12】

N I K - H C 8 複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することが可能である抗体または抗体フラグメント。

【請求項 13】

前記抗体または抗体フラグメントの抗原認識ドメインが、配列番号 5 に示されるアミノ酸配列のアミノ酸 1 ~ 180 または 650 ~ 947 によって含まれる請求項 12 記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項 14】

200 アミノ酸以下を含み、配列番号 5 の座標 1 ~ 180 または 650 ~ 947 によって示されるアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチドであって、N I K - H C 8 複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することが可能である単離されたポリペプチド。

【請求項 15】

26S プロテアソームの異常な活性と関連する疾患の治療方法であって、それを必要とする対象に、N I K - H C 8 結合を減少することが可能な治療有効量の薬剤を与え、それによって、該対象における 26S プロテアソームの異常な活性と関連する疾患を治療する工程を包含する方法。

【請求項 16】

前記薬剤が、N I K のキナーゼ活性を阻害することが可能な分子、H C 8 のリン酸化変異体、および N I K の非機能的誘導体からなる群より選択される請求項 15 記載の方法。

【請求項 17】

N F - B 活性または異常なプロテアソーム活性と関連する疾患を治療するために適切な薬物候補を同定する方法であって、N I K - H C 8 結合を調節することが可能な分子を同

定する工程を包含し、該分子が薬物候補である方法。

【請求項 18】

前記分子が、低分子化学物質、ポリヌクレオチド、オリゴヌクレオチド、アプタマー、ポリペプチド、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される請求項 17 記載の方法。

【請求項 19】

N F - B 活性と関連する疾患を治療するための医薬の製造のための、N I K - H C 8 結合を調節することが可能な薬剤の使用。

【請求項 20】

前記 N I K - H C 8 結合が、N I K - H C 8 複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することによってもたらされる請求項 19 記載の使用。

【請求項 21】

前記薬剤が、前記 H C 8 または N I K をコードする内因性核酸配列に相補的であるオリゴヌクレオチドである請求項 20 記載の使用。

【請求項 22】

前記薬剤が抗体または抗体フラグメントである請求項 20 記載の使用。

【請求項 23】

前記薬剤が N I K を結合可能である H C 8 由来のアミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが少なくとも 5 アミノ酸でかつ 50 アミノ酸以下の長さである請求項 20 記載の使用。

【請求項 24】

前記薬剤が H C 8 を結合可能である N I K 由来のアミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが 5 アミノ酸でかつ 200 アミノ酸以下の長さである請求項 20 記載の使用。

【請求項 25】

前記 N I K - H C 8 結合を調節することが、N I K - H C 8 複合体を安定化すること、またはその形成を増強することによってもたらされる請求項 19 記載の使用。

【請求項 26】

前記薬剤が N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を発現することが可能であるポリヌクレオチドである請求項 25 記載の使用。

【請求項 27】

前記薬剤が N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を含むポリペプチドである請求項 25 記載の使用。

【請求項 28】

前記薬剤が N I K インヒビターである請求項 19 記載の使用。

【請求項 29】

N F - B 活性に関連する疾患が免疫疾患、炎症性疾患または癌である請求項 19 記載の使用。